

校長より④ 令和2年3月23日

「新年度の準備を」

春休みに入りました。暖かな日差しが私たちを包んでくれています。

3月11日、東日本大震災から9年が経過しました。4年前の4月14日には、熊本県・大分県を中心とする大地震が起きました。被災地ではまだ平常の生活が戻っていない状況も見られます。心よりお見舞い申し上げるとともに、一刻も早い復興を願ってやみません。

東日本大震災では、学校はその多くが休校し避難所となりました。このときの宮城県立石巻高校長の記録を紹介します。石巻高校は、第6時限目の授業中でした。

「14時46分、今まで経験したことのない激しい横揺れのあと縦揺れ、各担任は訓練どおり生徒を机の下に潜らせ教室入り口を開放して、揺れが沈静化するのを待った。14時52分、揺れの沈静後、校庭への避難指示、15時00分、生徒避難完了。15時10分、校舎の被害確認終了。15時25分、校舎2、3階の教室に戻るよう指示。15時35分、生徒全員の入室完了と無事を確認」

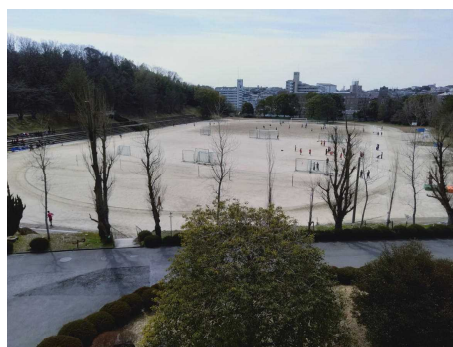
記録によれば、15時20分に津波に対する避難指示が出て、16時ごろには避難住民が高台に立地している石巻高校に到着し始めたとあります。つまり3月11日の夕刻以降、石巻高校の校内には、帰宅できずに残っている生徒と、学校へ避難してきた地域の方々がいたわけです。翌12日にかけて、石巻高校の先生方は不眠不休だったそうです。校長先生は、3月11日の記録の最後に

「(今日の時点では)保健室利用者が少なかったため、養護教諭は休めていると思っていたが、避難所で体調を崩した方、全身津波を浴びた避難住民等の対応で、夜通し保健室と避難所を往復していたことを知る。気付かなかったことの不明を恥じる」と記しています。



さて、今年の3月11日(水)の職員打合せ会で震災の話をしたところ、一人の先生が後日校長室に来て、本校の施設や設備で改善が必要な箇所について整理をしたものを示してくれました。私が気付かない箇所もありました。防災・減災の観点から担当者と認識を共有して生徒の皆さんの安全につなげていきたいと考えています。

3月18日(水)には合格者発表を行いました。今、本校では4月からの学校再開へ向けて新入生となる人たちも含めた生徒たちを迎える準備をしています。皆さんの方でも様々な新年度の準備を進めてください。



3月17日の本校グラウンドの様子

3月23日(月)校長 坪井基紀